

親子聖書日課

[日]バルクはエレミヤの書記として、苦難を共にしたので、疲れ果てました。それに対する主の答えは、「あなたの命だけは、どこへ行っても守る」と云われました。裁きの時、多くの人が命を失う中で、神に従ったバルクの命は救い出されたのです。

[月]紀元前605年、ユーフラテス川で史上最大の戦闘があり、バビロン軍がエジプト軍に勝利します。エジプト軍が負けたのは「恐怖が四方から迫った」からです。人は恐怖には勝てませんが、死に勝利された主を信じる時、恐怖は除かれます。

[火]主は今も「剣を取られ」ます。それは罪人を滅ぼすためではなく、罪を断ち切って清い主の民を造るためです。その主の剣とは御言葉です。御言葉は説明するものでなく、相手の心に切り込むものです。必ず、悔い改める人が起こさるでしょう。

[水]世の中、頼りになるのは、自分の力と金だと思ふ人はいませんか。モアブは「自分の業と富に頼った故に」滅ぼされました。全ては主の恵みによります。自分の力に頼らず、主に頼りましょう。決して罪に心が「占領される」ことはありません。

[木]モアブは地理的条件がよく、戦いの渦の外にいて、うまく立ち回り、富を蓄積し、知恵を誇り、高ぶりましたから滅ぼされました。戦後の日本は、似ていませんか。主のみ前にへりくだって、神中心に生きることこそ、「繁栄を回復する」道です。

[金]アンモンは水源と財宝、エドムは知恵に頼りました。しかし、それは彼らを救いません。現代も国々は経済力や政治力や軍事力に頼って生きようとし、ます。しかし、本当に頼るべきは、主の力です。「深い谷」神のふところこそ、唯一の避け所です。

[土]弓が巧みで強大な武力を誇っていたエラムに、主はその弓を折ると言われました。自分を誇るものは何でも碎かれます。人間が憎いからではありません。終わりの日の回復を願うからです。へりくだって、主の救いを受け入れましょう。



NO.1910 2025.5/4-10

名前

	聖書	問題	答え
日	エレミヤ 45:1-5	ただ、あなたの命だけは、どこにいてもどうされますか。	
月	46:1-28	何が四方から迫る、と主は言われましたか。	
火	47:1-7	災いだ、主は何を取られましたか。	
水	48:1-20	自分の何と何に頼ったゆえに、お前もまた占領されますか。	
木	48:21-47	モアブが滅んだのは、主に向かってどうしたからですか。	
金	49:1-22	逃げよ、退け、どこに隠れるべきですか。	
土	49:23-39	主は、エラムの弓、彼らの何を折りますか。	
感想と祈りの課題			